



プレスリリース <報道関係者各位>

2021年11月04日
浦田水産株式会社
熊本県海水養殖漁業協同組合
スクレッシング株式会社
株式会社 UMITO partners Inc.
ASC ジャパン(水産養殖海洋管理協議会)

熊本県海水養殖漁業協同組合及び浦田水産株式会社にてマダイ ASC 認証取得、近日販売予定

熊本県海水養殖漁業協同組合(深川英穂代表理事組合長、熊本県天草市)および浦田水産株式会社(浦田昌輝代表取締役 社長、熊本県天草市)は7月26日マダイとしては 国内2件目となる ASC(Aquaculture Stewardship Council:水産養殖管理協議会)認証を取得しました。今回の認証取得の準備として浦田水産と組合は株式会社 UMITO Partners(村上春二代表取締役社長)と飼料会社のスクレッシング株式会社(伊藤良仁代表取締役社長、福岡県福岡市)と協働で熊本マダイ養殖業改善プロジェクト(Aquaculture Improvement Project, 以下:AIP)を2020年6月から取り組んでいました。ASC 認証は、環境と社会に配慮した責任ある養殖方法で生産された水産物を対象とする国際認証制度で、SDGs(国連の持続可能な開発目標)の達成に貢献していることも注目され、世界の国々の間で年々認証取得件数が増加しています。今回の取得により、浦田水産のマダイが国際的にブランド力を高めるものとしても注目されています。



■責任のある養殖業を目指し AIP から ASC 取得に至った事例

AIP (Aquaculture Improvement Project、養殖業改善プロジェクト)は、責任のある養殖業を実現するための世界的に行われているプロジェクトの一つで、本 AIP は日本における2件目の事例として2020年に発足しました。今回認証を取得した浦田水産は、八代海の温暖な内海で、種苗から完全人工養殖・完全配合飼料育成により、年中安定した品質で管理、提供しています。ASC 認証を取得するためには周辺生態系および生息

域に与える影響のモニタリング、飼料や稚魚の持続可能性の評価、病害虫の管理、養殖場が社会的責任に関する方針策定などを強化し今回の取得に至りました。



■今後の販売について

イオンリテール(株): 2021年11月19日~22日の4日間、首都圏を中心とする多くの店舗にて販売いたします。

UMITO: 持続可能な漁業や責任ある養殖業を営んでいる生産者から積極的に調達し、頑張っている生産者を応援し生産現場のストーリーを消費者に伝えたいシェフとコラボ商品開発を行っていく予定です。

<各団体からのコメント>

浦田昌輝(浦田水産株式会社 代表取締役)

たくさんの方々の協力のおかげでASC認証を取得することができました。この場を借りて御礼申し上げます。これからは始まりで、社会への貢献・養殖業の発展に貢献できるように取り組み続け、養殖業がもっと豊かになることを目指します。



金棒 昭幸(熊本県海水養殖漁業協同組合 加工課営業課長)

ASC認証取得に向けてご協力頂いた皆様に感謝します。皆様のおかげでASC認証を取得することができました。今後もこの取り組みを継続することによって、『養殖そのものが及ぼす環境への負荷を軽減し、これらに配慮した養殖業に携わる地域の人々の人権を守り、暮らしを支える。』ことを目標に事業に取り組んで参ります。」



伊藤 良仁(スクレッティング株式会社 代表取締役社長)

「この度のASC認証取得おめでとうございます。弊社としましてもこのような素晴らしいプロジェクトに携われたことは非常に光栄です。プロジェクトを進めていくにあたり、皆様が高い養殖技術や熱い思いが、AIP開始から1年というスムーズな認証取得につながったと考えております。本認証の取得及び販売開始が日本においてサステナビリティの認知度を向上させるきっかけとなり、持続可能な世界の実現につながることを願っております。」



村上 春二(株式会社UMITO Partners 代表取締役社長)

「新型コロナウイルスの影響で生産・流通も大変な中、未来を見据えたSDGsに貢献するこの熊本県初ASC認証取得という意義深い達成に携われ本当に光栄です。本認証の取得と流通を通じて、多くの方々に認証取得の背景や意味が伝わることでサステナブルな社会の醸成が高まり、地域や生産者の経済的な発展につながることを強く願っております。」



山本 光治(水産養殖管理協議会(ASC ジャパン)ジェネラルマネージャー)

「認証取得を目指しご尽力された浦田水産と熊本県海水養殖漁業協同組合と関係者の方々に心からお祝い申し上げます。国内のマダイ養殖場としては2件目、熊本県としては初となる ASC 認証取得が、生産者の方々と地域の発展に繋がりに国内外にその水産物を広く提供し続けることを強く願っております。」



<参加組織>

■熊本県海水養殖漁業協同組合

熊本県海水養殖漁業協同組合は、海面魚類養殖業を営む漁業者で構成される業種別漁協で、販売、加工、購買及び指導の各事業を行なっています。与える餌、生簀ごとの魚の管理、加工、出荷までの徹底した品質と衛生管理。そして、漁場の水質調査や底質検査、海の清掃も行い環境保全にも努めています。

■浦田水産株式会社

浦田水産は、熊本県天草市御所浦町でマダイ及びシマアジの海面魚類養殖業を営んでいる養殖業者です。浦田水産のマダイ養殖業では、上天草市龍ヶ岳町に位置する樋島漁場で稚魚から1年半育成し、天草市御所浦町の前島漁場の生簀に分養して更に1年かけて出荷サイズである2kg前後まで育成しています。

■スクレッティング株式会社 <https://www.skretting.com/ja-jp>

養殖飼料の製造販売を手掛けるグローバルカンパニーで、世界17か国で約200万トンの、60種類以上の魚やエビの飼料を製造しています。日本では、福岡県福岡市に本社を置き、佐賀県伊万里市にて主にブリ、マダイ、カンパチ、サーモン飼料を手掛けています。

業界で先駆けてサステナビリティに取り組み、責任ある原料の調達から飼料づくりまでサステナブルを軸に産業の発展に取り組んでおり、近年ではASC認証取得に向けたお客様のサポートも実施しています。

■株式会社 UMITO Partners <https://umitopartners.com/>

株式会社 UMITO Partners は「100年後も続く漁業と地域を目指した事業の創出と伴走」をパーパスにサステナブルで「おいしい漁業」を創出するコンサルティング会社です。国際エコラベル認証コンサルティングをはじめ「漁業・養殖業改善プロジェクト(FIP/AIP)」の実行支援や企業やシェフとの商品開発や流通支援、漁業DX化に関するコンサルティング、地域行政と連携する地域サステナビリティプロジェクトなど、多様なステークホルダーと協力し、漁業・養殖業そして地域のサステナビリティに貢献できるようワークショップや事業を展開しております。

■ASC ジャパン(水産養殖管理協議会)<https://www.asc-aqua.org/ja/>

ASC(水産養殖管理協議会)は、環境や地域社会や人々に配慮した、責任ある養殖により生産された水産物を対象とする国際的な認証制度です。2021年10月現在ASC水産物を扱うCOC取得企業は世界で2636社(国内は158社)、ASC商品は19,440商品(国内371商品)あります。ASCロゴは、消費者の方々にその商品が持続可能な水産物であると知らせる力強いメッセージとなります。

<本件に関するお問い合わせ>

熊本県海水養殖漁業協同組合(加工課:金棒)

kanabo@marukuma.or.jp TEL 0969-72-1221 / FAX 0969-72-1222

浦田水産株式会社(代表取締役:浦田)

masaki@uratsuisan.com TEL0969-67-2017 / FAX0969-67-3898

スクレッティング株式会社(マーケティング部:伊奈)

yoshiaki.ina@skretting.com Tel 092-432-1301

株式会社 UMITO Partners(事業開発営業部:岡本)
louie.okamoto@umitopartners.com

ASC ジャパン (広報担当:川田)
Naomi.kawata@asc-aqua.org